

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスかなで		
○保護者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29人	(回答者数) 16人
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの姿を観察し、安心して過ごせる場所を提供できることに重きを置いていること。認知機能強化トレーニングや非認知能力の向上を図り支援を行っていること。また、感覚統合を促す活動を取り入れている。子ども達が個々の個性を大切にしながら少しでも生きにくさを生きやすさに変えられることを大切に支援に取り組んでいる。	小さな成功体験を積み重ねられるように、子ども達が自分で決めて活動に取り組める環境を作ること心掛けていること。学習の土台を作るために認知機能の強化や、非認知能力を高めていけるような支援を行っていること。また、応用行動を活用し肯定的な言葉をかけ子ども一人一人が見通しをもって活動に参加できるよう心掛けている。	
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援のスペースが狭い。 送迎の人員確保が困難。		今のスペースを変えることは出来ないため、パーテーションや学習時は二階のスペース等を活用して活動を行う。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスかなで

公表日 令和8年 4月 11日

利用児童数 2026年3月1日

回収数 18人(14家族)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78.6%	21.4%			座って学習する分には十分。体を使って遊ぶには十分なスペースとは言えないが、安全面での危険性は感じないので問題はないと思う。	ご意見のように学習スペースは確保していますが、身体を使っての遊びは確保できているスペースの中での遊びを試行錯誤し安全第一で行いたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	92.9%			7.1%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	78.6%			21.4%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.0%					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92.6%	7.1%			いつもお世話になっております。子供の事を考え、いつも親身になり勉強を教えていただいています。勉強以外にもいろんな話を聞いていただき感謝しています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100.0%				1：深く細かく見て頂いていると思います。 2：いつも子供のことを理解し、計画を立ててくださりその目標に向けて支援していただいています。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	92.6%	7.1%				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	85.7%	14.3%			親とも面談を通して話しを聞いてくださり、感謝しています。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	92.6%	7.1%				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100.0%					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21.4%	14.3%	7.1%	57.1%		
保 護 者 へ の 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92.6%	7.1%				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	92.6%	7.1%				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	57.1%	7.1%	7.1%	28.6%	学習に関するペアレントトレーニングがあれば是非実施していただきたいです(教え方のコツとか、知的な遅れがある場合の学習の進め方等)。また、中学や高校等の進学情報に関する情報提供があれば有難いです。	ペアレントトレーニングに関しては、保護者が子供の行動特性を理解しABA(応用行動分析学)に基づく具体的なかわり方学ぶことで、子供の学習意欲を高め、家庭学習の習慣化を目指すプログラムを有しています。進学情報等に関しては過去の実績等を照らし合わせながら進路のお話はしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	92.6%	7.1%				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	78.6%		14.3%	7.1%		
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	92.6%	7.1%					

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	42.9%			57.1%		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92.6%	7.1%				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92.6%	7.1%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	85.7%	14.3%				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92.6%	7.1%				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50.0%	7.1%		42.9%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	42.9%	57.1%			利用し始めてから実施したと聞いていないので、どれぐらいの頻度で訓練が行われているかは不明ですが、子供が避難手順を忘れない頻度で実施してほしい(突発的な事象にバニックになるため)。	今までは、年に数回避難訓練等を行いましたが、曜日によって参加ができないお子様もいましたので、今年は月に1回実施し全員が参加できるようにして行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	71.4%	14.3%		14.3%		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	87.5%			14.3%		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92.6%	7.1%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	85.7%	14.3%			「今日はかなでの日だよ」と伝えると、毎回「やったぜ!」と喜びます。	通う目的を持って、楽しく通っていただけるようにこれからも努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	85.7%	14.3%			1:いつも寄り添って頂きありがとうございます! 2:利用してまだ半年も経過していないため、分かっていない部分も多いですが、「3か所通っているサービスの中で一番好き」と子供が言っているので、安心して楽しく過ごせる空間なんだと私も安心しています。また、通い始めてから、学校の学習も丁寧に取り組んでいる様子が見られ、嬉しい限りです。今後ともよろしくお願いいたします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスかなで				公表日	令和8年 4月 11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		その時の状況に応じて、活動と学習の場所を分けて行う。	スペース的の広さは活動となると若干狭い感じがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		送迎時には職員が手薄にならないように配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		クールダウン等が必要な時は、仕切り等を設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		広いスペースではないが、物の配置等に気を配り広く使えるように工夫している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウンできる部屋や学習と活動スペースを適宜、分けれるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		全職員のPC共有ソフト等を使い常に情報の共有と理解をして参画している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者の評価を職員間で共有し改善している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎日、支援前に会議等を行い周知している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%	内部評価は毎年行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		法人内で、各職員に研修等を開催する。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		公表システム等にて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		児童発達支援管理責任者がアセスメントを行い支援員に情報共有している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		児童発達支援管理責任者と支援員間で担当者会議を行い作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		共有ソフト等を使い、常に最新の情報を共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		こどもの日々の行動等は、会議録、ツール化したシートを使いアセスメント行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		計画書とはガイドラインを参考に作成している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		個々の立案を参考にチームでプログラムを立てている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		固定化しないようにプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		一人の活動も行いますが、小集団での活動を多く取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		支援前に必ず打ち合わせをして、その日に行う支援を話し合いをし、支援内容の共有する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	100%	児童発達支援事業所から引き継ぎをもらい情報共有はしている。	機会があれば、研修申請をしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%		他者とのコミュニケーションを図るのが難しい子供たちが、多数いるため地域の交流とは困難と考えられる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%		研修自体が開所時間内に行われることが多いので人員的にも難しいですが、時間帯が合えば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		集団トレーニングは現在行っていないが個別でのペアトレの手法は提案している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		リタリコサイトの活用とInstagramやブログにて配信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報を扱う際は同意書を取っている。個人情報は鍵付きの書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		可視化したり、書面に残している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		場所がなかなか難しいところがあり、招待ができない状態だと思われる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		マニュアル等は、新年度にQRコードにて周知している。(通達文配布)	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		一年に一度、職員研修を行う。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		年に一度、職員研修を行い必要になるかもしれないことを踏まえ同意書をもらっている。		